

保護者 各位

## 「全国学力・学習状況調査」結果から見える篠原小の子ども

横浜市立篠原小学校

校長 阿部 直美

寒冷の候、皆様方におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、5月に実施した、6年生対象の「全国学力・学習状況調査」の結果がまとまりました。学校では、全国平均と見比べて、本校児童の特徴を分析いたしました。今後はこれを踏まえて、日頃の学習指導を工夫・改善し、学力向上アクションプランの見直しを進めてまいります。保護者の皆様におかれましても、家庭での生活や学習において、参考にいただければ幸いです。また、学校ホームページに、各教科のレーダーチャートやその他グラフ資料を掲載しております。そちらも併せてご覧ください。

### 1. 児童質問紙調査からうかがえる篠原小の子どもの姿

#### <生活>

- スマートフォンやコンピュータ等を、節度をもって使えている児童が多い。
- 自分にはよいところがあると思う児童の割合は、78%程度。(全国平均と同程度)
- 朝決まった時間に起き、朝食をきちんと食べている児童の割合が、全国平均より5%程低い。
- 将来の夢や目標をもち、失敗を恐れず挑戦し、やり遂げると考える児童の割合が、やや低い傾向がある。
- 困っている人を進んで助け、人の役に立つ人間になりたいと考える児童の割合が、やや低い傾向がある。

#### <学習>

- 自分で計画を立てて学習をしている児童の割合が高い。
- 自分の思いを伝えることができる、意見を言うのが楽しいという児童の割合が高い。
- 友達と協力するのが楽しいという児童の割合が高い。
- 1時間以上の家庭学習や30分以上の読書、新聞を読むことをしている児童の割合が高い。
- 地域行事に参加している児童の割合が少ない。

### 2. 学力調査からうかがえる篠原小の子どもの姿

#### ○「国語」

全項目で全国平均を上回っている。特に記述式の問題の正答率が60%を超え、難しい問題でも根気強く取り組み、自分なりの答えを導き出そうとしている姿がうかがえる。

#### ○「算数」

全項目で全国平均を上回っている。国語と同様に、記述式問題での正答率が高く、また無答率も低い。最後まで、粘り強く考え抜く姿勢が見られる。

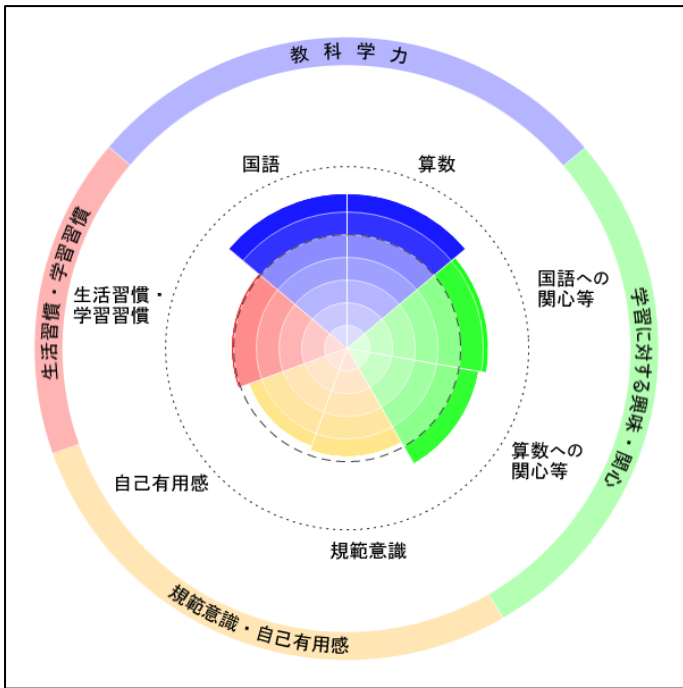
### 3. 今後の取り組み

「自分づくりパスポート」等を用いて、自分自身のことを見つめる機会を増やしたり、体験的な活動の機会を増やしたりして、自分の好きなこと、自信をもてることを見出せるよう支援していく。

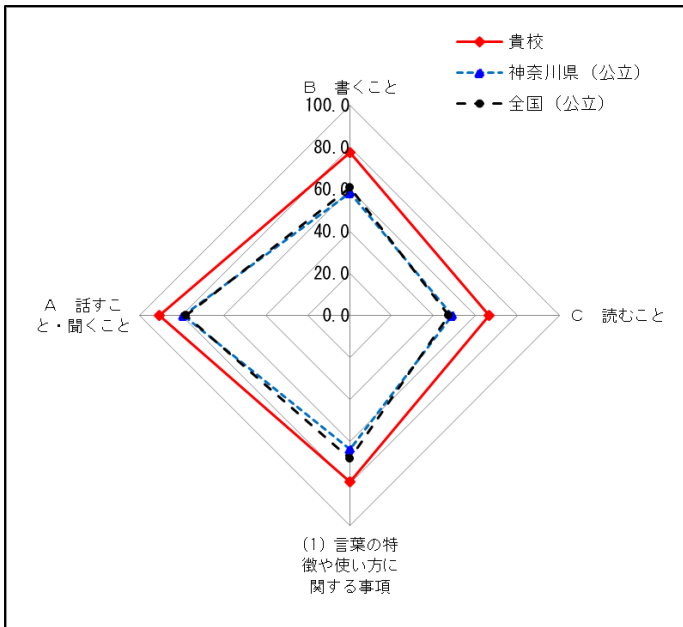
また、一人1台配付されたタブレットのよりよい活用方法について研究を深め、情報活用能力の育成に力を入れていく。

全国学力・学習状況調査結果チャート

[児童生徒] 児童質問紙 (全国基準)



【学習指導要領の内容の平均正答率の状況 (国語)】



【学習指導要領の内容の平均正答率の状況 (算数)】

